



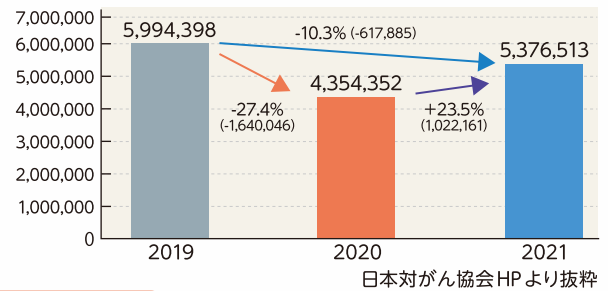
# がん検診

9月は「がん征圧月間」、10月は「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」です。厚生労働省はがん検診受診率50%を目標としています。肺がん検診の男性以外はまだ目標に達していません。日本人の2人に1人は一生のうちがんと診断される(累積罹患リスク)と言われており、初期では症状がない事が多いため、がん検診は「定期的な受診」が大切です。

## ▶ コロナ前よりがん検診受診者減少!!

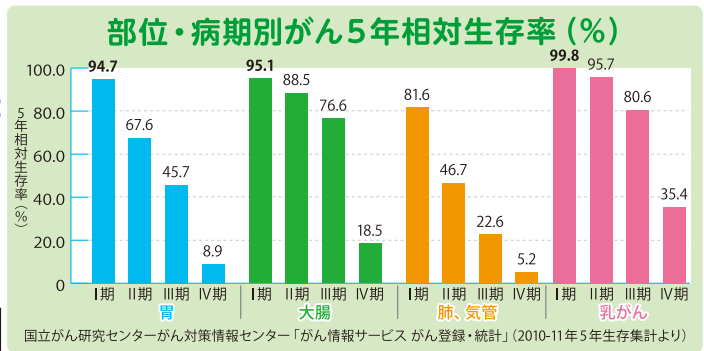
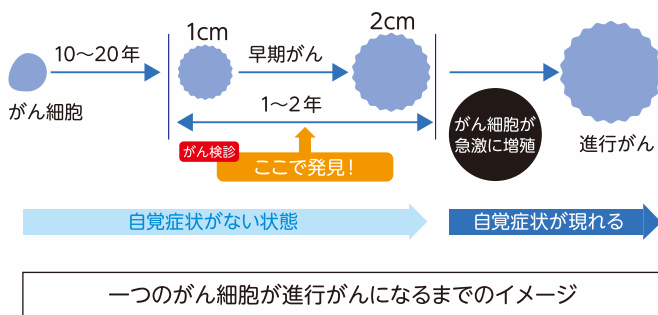
昨年のがん検診受診者数は新型コロナウイルス拡大前の9割程度にとどまっていることが分かりました。コロナを理由に受診を見送り、次の受診まで期間が空いてしまうと、早い段階で発見できずのがんが進行した状態で見つかる可能性が高くなります。

▶ 受診者数の推移 (胃・肺・大腸・乳・子宮頸がん検診、延べ人数)



## ▶ がんの早期発見で治る可能性が高くなるってホント?

がんは早期発見できれば、治る可能性の高い病気です。がんの発生部位にもよりますが、早期であればほとんどのがんが治る時代になりました。進行度が進むと生存率も低くなるため、がんを治すには早期発見がカギとなります。そして、がん検診では多くの早期がんが見つかっています。



## ▶ がん検診は不要不急にならないの?

がん検診受診は、不要不急の外出になりません。また検診機関では「密」の回避をし、検温や消毒などの感染防止策を行っていますので、安心して受診していただくことができます。

## ▶ どうしたら受けられるの?

お勤めの方やそのご家族は、勤め先の健康保険にご確認をください。ご自分の健康保険ががん検診を実施していない場合は、市町村が実施するがん検診を受けることができますので、お住まいの市町村に問い合わせください。

宮崎県の  
がんに対する情報は  
こちらから↓



宮崎県のがん情報 サポートサイト  
がんネットみやざき

検診を受けておけばよかった、と後悔しないよう自分や家族のために  
がん検診を受けましょう!